

2025年度地理学教室卒業論文発表会プログラム

日時: 2026年1月29日(木)9:00~17:50

会場: 12号館104室

発表時間: 1人15分(発表時間12分, 質疑応答3分)

時間	発表者	研究室	タイトル
1~6 座長: 田中			
1 0900-0915	西田蒼志	環境地理	沖縄県伊平屋島と伊是名島における絶滅危惧種ウコンイソマツの生育立地特性
2 0915-0930	中本優樹	都市・人文	バンコクに「居続ける」ための選択 ―日本人現地採用者の仕事と生活―
3 0930-0945	森敦	都市・人文	地理的な要因に着目したペット飼育者の特徴 ―個人および居住地域の属性とペット飼育の有無の関係性―
4 0945-1000	片山真之介	環境地理	富士山東斜面森林限界付近における植生拡大の解明
5 1000-1015	伊野明華	都市・人文	東京都郊外における鉄道会社による移動販売事業の展開とその意義 ―京王電鉄を事例として―
6 1015-1030	須藤雅巳	気候	熱帯低気圧活動の季節変化とその地域性の気候学的な研究
(休憩: 15分)			7~12 座長: 矢部
7 1045-1100	伊藤大智	環境地理	飯豊山地の偽高山帯における高山植物群落の過去55年間の変化
8 1100-1115	中川たまき	環境地理	足尾松木沢における土壌の分布と植栽木の定着
9 1115-1130	真澄隆信	都市・人文	地名からみた都市化と地域環境の変遷 ―東京都八王子市および青梅市の地名景観分析―
10 1130-1145	柏木欧介	都市・人文	新大久保・コリアンタウンにおける言語景観の変化 ―大久保通りを事例として―
11 1145-1200	中務良亮	都市・人文	東京下北沢における音楽パフォーマンスの変化 ―新型コロナウイルス感染拡大前後の出演形態に着目して―
12 1200-1215	清水光瑠	気候	九州地方における梅雨期の線状降水帯事例のアンサンブル予測実験
(昼食休憩: 45分)			13~18 座長: 白井
13 1300-1315	塩沢文萌	地形・地質	地震時における「崩壊」と「地すべり」の発生場の特徴とそれらを分ける要因 ―令和6年能登半島地震を事例に―
14 1315-1330	坂本悠悟	気候	八丈島地峡部における局地風の鉛直構造と台風被害の空間分布
15 1330-1345	辻森律己	地形・地質	能登半島内浦地域の海成段丘の発達と地殻変動
16 1345-1400	畔柳颯	環境地理	駒止湿原において堆積する泥炭に周辺の土地利用が及ぼす影響
17 1400-1415	福島一輝	気候	SAR衛星データを用いた積雪深分布の推定
18 1415-1430	永田桃夏	環境地理	函南原生林の植生帯境界域における標高勾配に沿ったギャップ動態の差異
(休憩: 15分)			19~24 座長: 飯島
19 1445-1500	新垣胡汰郎	環境地理	沖縄県久米島のリュウキュウマツ林におけるマツ枯れ被害の分布と植生構造
20 1500-1515	諸岡知足	地形・地質	山梨県大月地域における富士山起源ラハールの流下―堆積過程と段丘地形の発達史
21 1515-1530	山口伊於	気候	地表面構造の類型化に基づく都市の地表面温度形成要因の分析
22 1530-1545	松岡日菜子	気候	モンゴルにおける2023/2024年冬季の積雪の特徴
23 1545-1600	山本来輝	都市・人文	中学生の通学路選択に関わる要因 ―千葉県公立中学校へのアンケート調査の分析―
24 1600-1615	石井美羽	気候	高解像度領域大気モデルを用いた黒潮大蛇行に対する関東地方の領域気候応答
(休憩: 15分)			25~29 座長: 中山
25 1630-1645	橋本真希	気候	台風に伴う太平洋-日本テレコネクションパターン及び類似のテレコネクション応答の研究
26 1645-1700	松永貴尋	気候	台風の急発達・急衰退における環境場
27 1700-1715	長島晴一	地理情報	観測データに基づく歩行者の行動予測モデルの構築 ―Operational Levelのマルチエージェントシミュレーションを目指して―
28 1715-1730	西宝	地理情報	金字石塔の分布に関する研究
29 1730-1745	室谷研輔	地理情報	秦野盆地湧水群における硝酸態窒素の時空間変動
1745-1750			おわりに・連絡事項